



園芸家 柳生 真吾 やぎゅうしんご
NHKTV「趣味の園芸」キャスターで8年間活躍し人気を博す。1968年生まれ。小学生時代から八ヶ岳に通い、父親の俳優・柳生博氏とともに雑木林をつくり、89年に林を開放してレストランやギャラリーを併設した「八ヶ岳倶楽部」をスタート。園芸著書も多数。

写真提供/柳生真吾



しっとりと趣があって最近八重桜にひかれます。

八重の桜が基準!?

四月は魔の月、園芸作業にご用心

桜が咲いても植物には
まだ春ではない!

『八重の桜』といってもテレビの大河ドラマの話ではありません。桜の花と春の園芸作業の時期のお話です。日常感覚でいえば「桜が咲いたから春が来た! さあ、もう春の園芸作業にかかろう」という感じですが、「みんなが思っているこの『桜』はほとんどが日本の桜の代名詞ともなっている「ソメイヨシノ」という品種の桜です。このソメイヨシノが咲く時期は、西日本から関東あたりまでは3月下旬から4月上旬で、この時期は、実は植物にとってはまだ春ではないのです。夜桜を見に行つて寒くて震えた経験もありますね。俳句の季語にもなっている「花冷え」という言葉があったり、「遅霜」が降りたりして、三寒四温ともいわれます。だから、ソメイヨシノを基準に春が来たと思つて野菜の苗などを植えると、その後急に冷え込む日があった

りして冷害にあい、失敗することが多いです。特に今年の春先は気温の上下が極端なジグザグを描くほど激

しいものでした。そしてなぜかソメイヨシノの開花宣言は東京で3月17日で、異常に早かったですね。



ソメイヨシノより遅く咲く八重桜。近所で一本見つけておくといいですよ。



全国どこでも「八重桜が散ったら遅霜なし」と覚えておくと便利。

苗を植える基準は
八重桜が散つてから!

そこで登場するのが「八重桜」です。この桜は、ソメイヨシノより開花時期が遅く、桜の中でもいちばん北に長い日本列島は、南と北では気候が約1ヵ月くらい違いますから、九州の南の方なら4月上旬にはもう

八重桜が咲いているところもあります。日本のどこであつても、春に野菜などの苗を植えたりアサガオのタネまきをするのは、「八重桜が散つてから」と覚えておくのと失敗はありません。この頃なら陽気が良くなり、もう霜も降りることではなく、植物がのびのびと安心して生長できる時期になります。このような園芸

や農作業の基準とされる植物を「指標植物」といいます。また、陽気が良い日に風が強くと吹くと植物の乾燥がひどくなり、水やりにも注意が必要です。1日1回などと決めないで、土の乾燥状態をみて乾いていたら水やりをしましょう。乾いていないのに水のやりすぎは冷害のもとになるのでご注意ください。この5月号が発行される4月上旬頃は園芸のタネまきや苗植えに魔のシーズンです。くれぐれもご用心!!

「八ヶ岳倶楽部」公式ホームページ
www.yatsugatake-club.com
柳生真吾の八ヶ岳だより 毎日更新中